

抽水
植物

可憐な花で水面を覆う水陸両用の 恐るべき外来植物

発行／2018年3月 農林水産省農村振興局農村環境課

■オオバナミズキンバイ／ウスゲオオバナミズキンバイ

特 緊

抽水型のオオバナミズキンバイ(写真は8月)。



オオバナミズキンバイ

茎: 高さ0.3～0.8m、花: 直径4～5cm

ウスオオバナミズキンバイ

茎: 高さ0.3～1.2m、花: 直径3cm

水中～陸上まで生育でき、葉の形も変わる。

開花は6～10月。

ウスゲオオバナミズキンバイ
の抽水型は葉が細い。
(写真は8月)



ウスゲオオバナミズキンバイの実
(写真は8月)。



■ミズキンバイ



近縁の絶滅危惧種。
環境の変化で次々に消滅。
花の直径は2～3cm。

このように繁茂しています!!

琵琶湖の湖岸でマット状に広がる
ウスゲオオバナミズキンバイ(写真は8月)。



水路の出口を塞ぐように密生する
ウスゲオオバナミズキンバイ(写真は8月)。



※水利施設への被害は、ほとんど確認されていないが、琵琶湖で爆発的に増えていることから、水利施設に侵入すれば、通水障害などを起こすおそれがある。

特(特定外来生物)は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。

緊(緊急対策外来種)は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種です。

詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

● 生育環境 (どんな場所から増えて行くか！)

乾いた陸上でも生育する



水面上にマット状に広がるウスゲオオバナミズキンバイ。
(写真は8月)



ため池のコンクリート護岸の上で生育する
オオバナミズキンバイ(写真は8月)。



湿生植物の中に混ざって生育するオオバナミズキンバイ。
(写真は8月)



水中で葉を広げるオオバナミズキンバイ。
(写真は8月)

● 繁殖方法 (このように増えて行く！)

茎の破片と種子で繁殖する



冬期は低温で大半が枯死するが、
生き残った茎断片は発根、再生し、
次々と芽を出して茎を伸ばす。
(写真は8月のオオバナミズキンバイ)



絡まりあった茎が、水中で浮かんでいる
ウスゲオオバナミズキンバイ(写真は8月)。

● 対策 (これらについて心得よう！)

- 茎の破片からも再生するので、それらもできるだけ回収する。
- 乾いた陸上でも根付いて再生するので、ブルーシートやアスファルト等の上に置く。
- 種子で繁殖するので、開花、結実前に駆除する。

本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0514

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局農村環境課 03-3502-6091